

産業、大学、高度先端医療の集まるまち

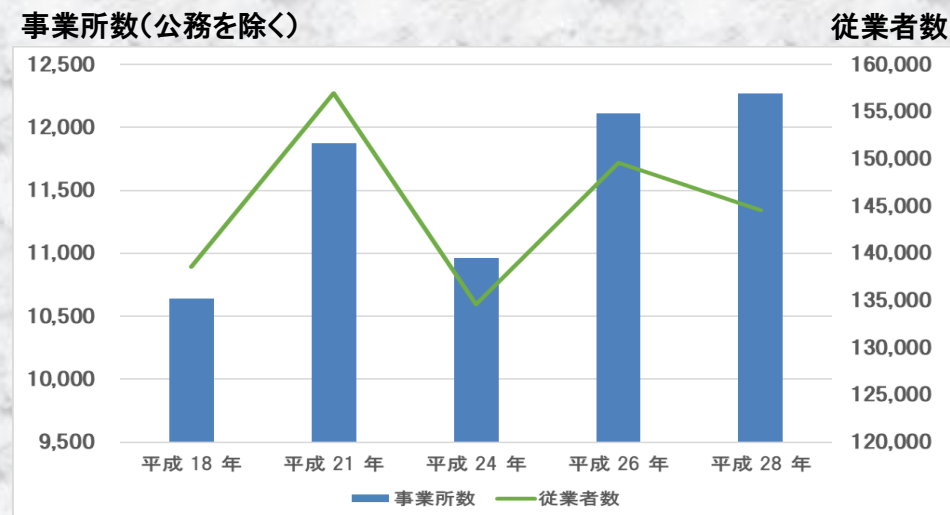
吹田市は、市内南部を中心として、江坂地域やJR吹田駅の周辺地域、また神崎川の周辺地域などにおいて、商業や工業などの多くの事業所が立地しており、大阪市などの周辺都市から多くの通勤者を受け入れる機能を持つ産業集積都市としての側面を持っています。

その一方で、市内北部を中心として、計画的なまちづくりが行われた千里ニュータウン、豊かな緑と文

化・レクリエーション施設が整った万博記念公園のほか、全国でも有数の大学や研究機関、高度先端医療機関の集積があり、市域全体で見ると、産業集積都市という側面だけでなく、住宅都市、文化都市、教育都市、医療都市といった複合的な機能を併せ持ったまちとなっています。

吹田の産業

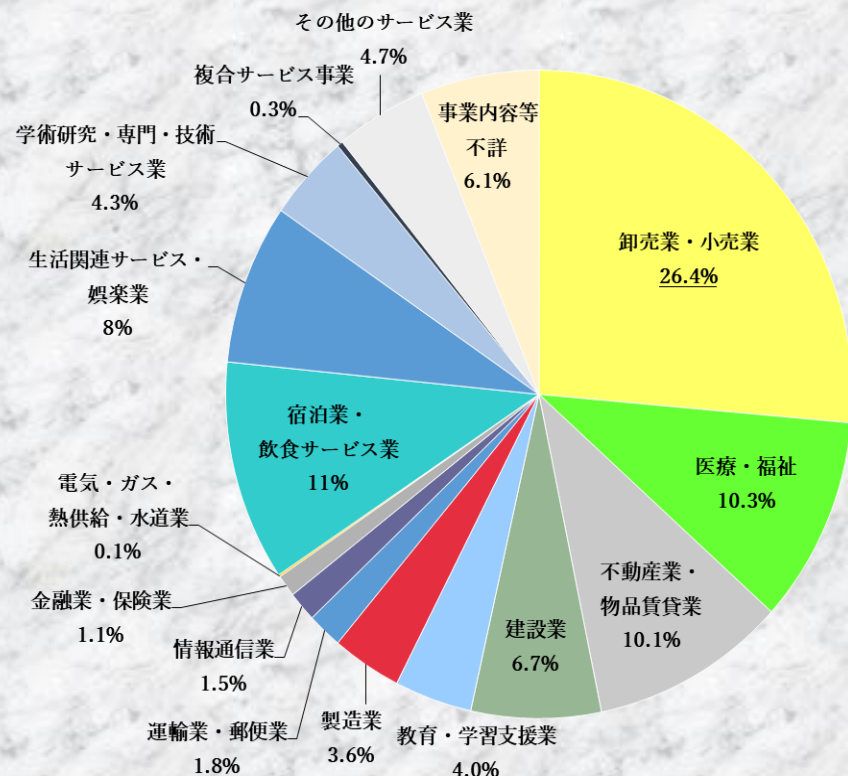
吹田市の事業所数・従業者数の推移(平成18年～平成28年)



平成28年
事業所数 12,270事業所
従業者数 144,593人

※平成18年は事業所・企業統計調査、
平成21年～28年は経済センサスより

吹田市業種別事業所割合



市内産業の特徴

- 大阪府第2位(全国第35位)の卸売業の販売額
吹田市は交通の利便性が高いことから、卸売業の事業所が数多く集積しています。平成28年の販売額は約1兆6,350億円となっており、これは大阪府内では大阪市に次いで第2位、全国の市区町村でも第35位という、非常に大きな販売額となっています。(平成28年経済センサス-活動調査より)
- 大阪府第3位(全国第13位)の開業率
吹田市は、市内で新たに事業を開始する起業者が非常に多いまちでもあります。平成28年度の開業率は6.53%であり、これは大阪府内では3番目に高く、同年における本市を含む全国の10,000以上の事業所を有する112の市及び特別区の開業率と比較しても13番目の高さとなっています。(平成28年経済センサス-活動調査より)

吹田の大学、医療機関



吹田市は、5大学・1研究機関が立地する全国でも有数の「大学のあるまち」です。各機関との間で、文化・教育・産業・まちづくりなどの分野において、地域連携を推進する協定を締結しています。また、市立吹田市民病院のほか、国立循環器病研究センター、大阪大学医学部附属病院、大阪府済生会千里病院千里救命救急センターなど、多くの医療機関に恵まれたまちでもあり、市民の安全を守るため、市と各医療機関が互いに協力し、取組を進めています。